システム検討委員会

電子カルテ管理課　課長　長山　信夫

電子カルテデータの県外バックアップに関する検討

2015 年から実施している電子カルテの県外バックアップについて、高知県から今後の更新方針について報告を受け、現状の運用基盤を更新するのではなく施設毎に個別に新規導入する方向で検討を実施しました。仕組みについて、県外のデータセンターへの保管、クラウドサービスへの保管を検討しましたが、電子カルテのデータ容量が多い為、転送容量により費用が高額となるクラウドサービスは見送る形になりました。県外のデータセンターへの保管について、データセンターの使用料（サーバ構築費・データセンター利用料）、回線導入・運用の費用を複数社（4 社）で比較し検討を行いました。初期費用・運用費用から NTT のサービスを併用する事が決定し、北海道のデータセンターへのバックアップが 10 月より開始されました。

2022 年度診療報酬改定についての報告

2022 年度の診療報酬改定に於いて、以下の内容について報告と検討を実施しました。

項番	内容
1	診療録管理体制加算の施設基準改定による対応
2	HL7FHIRの導入状況の報告
3	院外処方箋のリフィル処方箋対応
4	オンライン資格確認による電子的保険医療情報活用加算の対応

項番 1　診療録管理体制加算の施設基準改定による対応

施設基準が一部改定されました。それに伴い、専任の医療情報システム安全管理責任者の配置と、全職員を対象とした情報セキュリティ研修の開始に関する報告と検討を実施しました。

医療情報システム安全管理責任者は、電子カルテ管理課 長山が専任する事となりました。

情報セキュリティ研修は 400 床以上の病院が対象となっていますが、近森リハビリテーション病院・近森オルソリハビリテーション病院も含めた職員を対象に 2022 年度中に開催する事が決まりました。初回の研修はウイルス感染による情報流出をテーマに 2022 年 12 月～2023 年 2 月の期間に開催し、受講率は 94%でした。（育休・産休・休職者を除く）

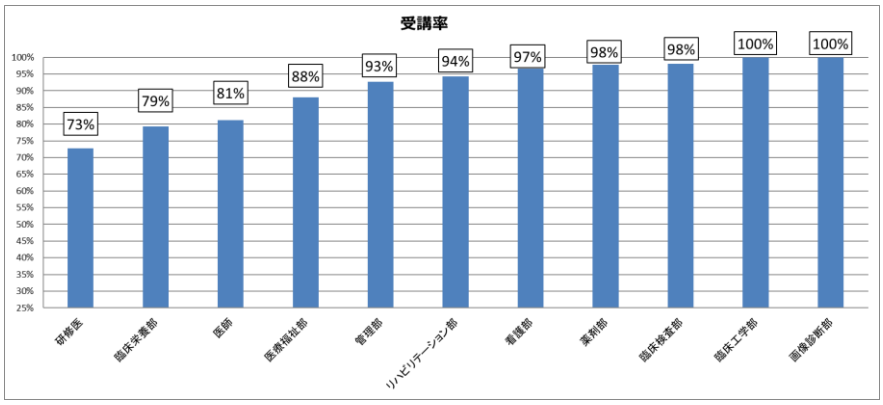

図 1．職種別受講率

項番 2　HL7FHIR の導入状況の報告
項番 1 の診療録管理体制加算の年次報告に於いて、HL7FHIR の導入状況について報告が必要となりました。当院の電子カルテ（NEC MegaOak HR R8.0）では、現時点（2023 年 4 月）では対応出来ておらず、今後の課題となっています。NEC とは今後情報共有しながら対応状況の確認をし、システム検討委員会にて報告予定です。
※HL7FHIR・・・医療情報交換の為の標準規格

項番 3　院外処方箋のリフィル処方箋対応
院外処方のリフィル処方が導入されました。電子カルテのシステム対応が必要となりますが、院内ニーズを確認した結果、システム対応は見送りとなり、レイアウト変更のみの対応となりました。リフィル処方を出す場合は院外処方箋へ手書きとなり、今後必要となった場合は再度システム対応を検討する事になりました。

項番 4　オンライン資格確認による電子的保険医療情報活用加算の対応
オンライン資格確認から薬剤情報もしくは特定健診情報を参照し、診療等を実施した場合に別途加算が算定可能となりました。オンライン資格確認の参照画面から対象となる加算コストを医事会計システムへ送信するボタン追加の報告を行いました。

電子カルテの再起動についての報告と検討
電子カルテに使用しているウイルス対策ソフトのバージョンアップを実施する為に、電子カルテの再起動が必要となり、再起動の時間帯に関する検討を行いました。救急外来や病棟への影響が少ない時間帯に実施する事で報告をし、6/18（金）4:00 に実施しました。報告の際に、年 1 回の再起動を実施する事を提案し、翌年以降も実施する方向となりました。

PACS の定期再起動についての報告と検討
PACS サーバの定期再起動に関する報告と検討を行いました。現在使用中の PACS（PSP）は稼働から一度も再起動を実施しておらず、システムの安定稼働を目的として定期的に再起動を実施したいとメーカーから提案がありました。作業は影響が少ない時間帯に実施する事を報告し、4/15（金）23:00 に実施しました。大きなトラブルも無く完了し、今後は 1 年に 1 回の再起動を実施します。

ランサムウェア関連の報告と対応状況に関する報告
2021 年 10 月に発生した徳島県 半田病院のランサムウェア被害について、以降も一部の医療機関にてランサムウェアの被害が出ている件を報告しました。被害に遭った病院の報告にある感染経路について、VPN 装置からの侵入が指摘されており、当院の対応状況を報告しました。

脆弱性監査（ペネトレーションテスト）の実施に関する報告
昨今の医療機関を狙ったサイバーテロに関連して、当院の院内ネットワークに対して脆弱性が無いか調査を実施するサービス（ペネトレーションテスト）の報告と検討を実施しました。攻撃者目線で当院へのネットワークに侵入可能か調査してもらうサービスで、当院のネットワーク構築に脆弱性が無いか診断してもらい、課題の抽出を行います。また、当院で稼働しているホームページ用の Web サーバ、メールサーバにも脆弱性が無いか診断を実施し、課題の抽出を行う事で承認されました。

電子処方箋の検討

2023 年 1 月より電子処方箋の運用が開始となり、対応について検討を実施しました。現在紙で発行している院外処方箋を電子化し、サービスを導入している院外薬局で処方箋を電子的に処理する事が可能になります。病院で対応するには電子カルテの改修や必要な備品購入、HPKI カードの発行等の対応が必要となる上、保険薬局も対象サービスを導入する必要がある為、検討時点では見送る方向となりました。今後の保険薬局の動向や他医療機関の導入状況は引き続き調査し、必要に応じて委員会にて報告する事となりました。

HPKI カードに関する情報提供

医師の資格証明や電子処方箋といった電子的サービスを使用するに必要な電子署名を付与する際に必要な HPKI カードについて、情報提供を行いました。導入を検討中の電子処方箋サービスを使用する場合は、処方する医師すべてに HPKI カードの交付が必要となります。現在は紛失や破損にも対応できるよう、HPKI セカンド電子証明書が発表されており、今後も引き続き情報提供を実施していきます。近森病院は 2006 年から NEC 製の電子カルテを導入しており、2021 年で導入から 15 年を迎えました。現在使用している電子カルテ「MegaOak HR」のサポート終了の案内が届き、サポート終了の情報共有を行いました。次回電子カルテの更新は 2026 年を予定していますが、上述の保守サポート期限を踏まえた上で今後検討が必要です。